

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	福祉課
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	3.協力と支え合いによる福祉のまちづくり
分野別方針	(1)二宮町社会福祉協議会との協力・連携
実施計画事業	1)社会福祉協議会関係事業(No.23)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	社会福祉関係事業	100.0%	B
02			
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会への町委託事業や補助事業の精査 ・社会福祉協議会職員の資質向上と育成 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	社会福祉協議会は、町の地域福祉を推進する上での核となる事業を実施している。今後も益々そのニーズは増すことから、有効的、効率的なサービスを念頭にいた社会福祉協議会との連携は、今後も必要不可欠である。

方向性	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
意見等	今後ますます加速する少子高齢化等に向けた地域福祉施策を展開するにあたって連携の方法等を改善しながら事業を進めていく。

◎評価者[担当主管部長]	
<input type="checkbox"/> ① 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施 <input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施 <input type="checkbox"/> ④ 廃止	
意見等	福祉施策に関して、町、社会福祉協議会、社会福祉法人、民間事業者、地域、家族等がどの部分を担うのか整理をする中で、町と社会福祉協議会との協力体制や連携の内容も決められてくると考えられる。いずれにしても、社会福祉協議会の果たす役割は今後も重要であることから、連携の強化を図っていく必要性は高いと思われる。